

簡易スタッカ STM400 取扱説明書

③ 簡易スタッカ設置位置

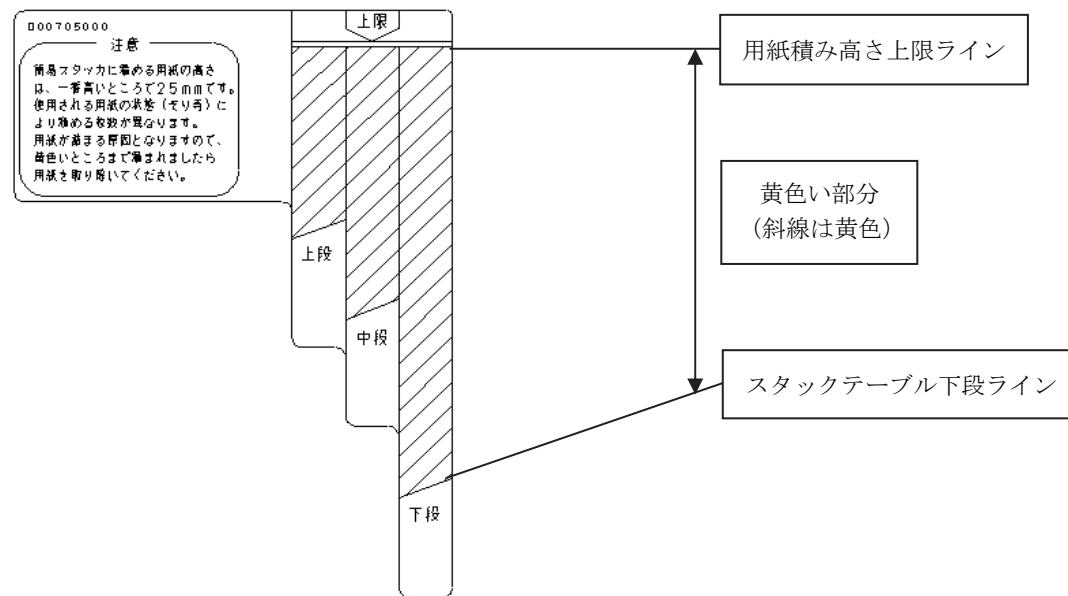
- 上記ペーパーガイド/スタックテーブル調整後、下記写真のようにプリンタ右側面とベースフレームを並べるように設置します。



ベースフレーム

④ スタッカの上限

- 本スタッカでは各段において、用紙積み高さの保証をスタックテーブルから25mmとしております。
用紙状態により「上限」ラインまで積む事が可能ですが、「用紙詰まり」や「用紙の積み崩れ」が懸念される為、用紙の一番高い部分が、黄色いところまで積まれましたら用紙を取り除いてください。



○はじめに

このたびは、弊社バーコードプリンタ用オプション、簡易スタッカ STM400 をご購入いただきました、ありがとうございます。本製品は、プリンタ CL4NX-J、MR4XXe シリーズ、M-48Pro/M-4800Rve シリーズ、MT4XXe シリーズで、カッタオプション（別売り）と合わせて使用できます。

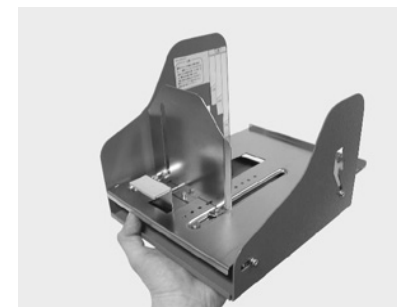
ご使用になる前に本書をよくお読みいただき、本製品を正しくお使いください。

○使用するにあたっての注意事項

- * 本スタッカは、用紙の自重を利用した自然落下でのスタック方式を採用している為、必ずしも用紙が整列してスタックする事を保証するものではありません。用紙の状態（カール及び、用紙の種類）によりスタックの仕方が異なります。以下の注意事項をお読みいただきご使用ください。

(*スタック:用紙の積まれた状態)

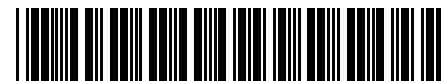
- 1) 屋外や窓際、エアコンの風が直に当たる場所等、風の吹いている場所でのご使用を避けてください。風の影響により用紙の積み崩れやスタッカから落下するおそれがあります。
- 2) 積み高さ制限以上に用紙を積むと、用紙の積み崩れや用紙詰まりが発生する場合があります。「積み高さ制限ライン」を越えましたら、「上限」に達する前に用紙を取り除いてください。
*用紙積み高さ制限は、「④スタッカの上限」を参照ください。
- 3) 使用環境によってスタックが悪くなる事があります。
- 4) 静電気のたまる事で、スタックが悪くなる場合があります。
- 5) プリンタからの用紙排出の状態によって、スタックが悪くなる場合があります。
- 6) 持ち運びの際、製品の下側を持ってください(下記写真参照)。
*片手で側面を持ちますと、製品が変形する恐れがあります。



良い例
(下側を持ってください)

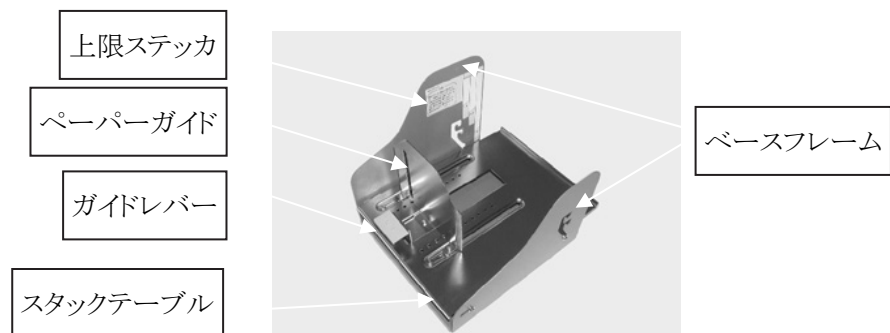


悪い例
(片手で側面を持たないでください)

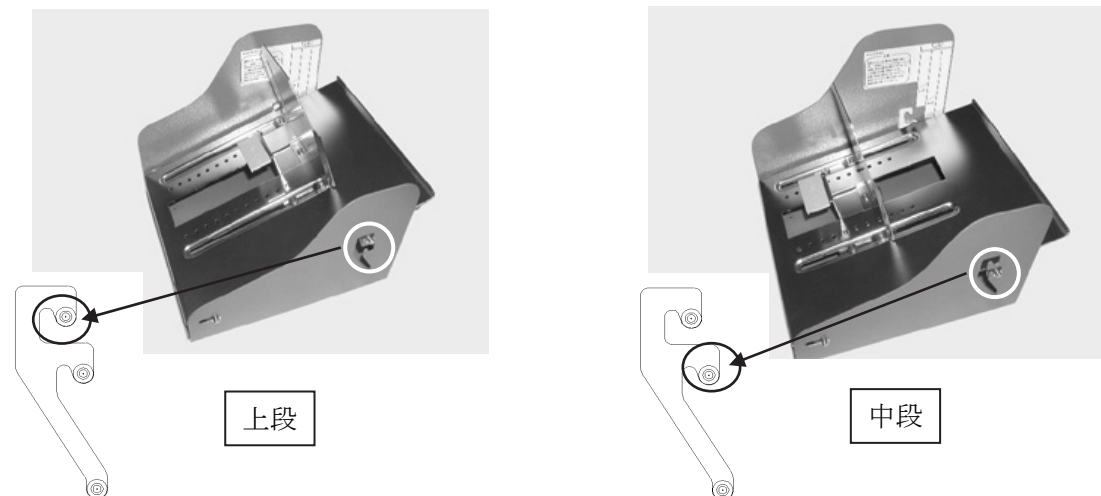


○ 各部の名前

<STM400 全体図>



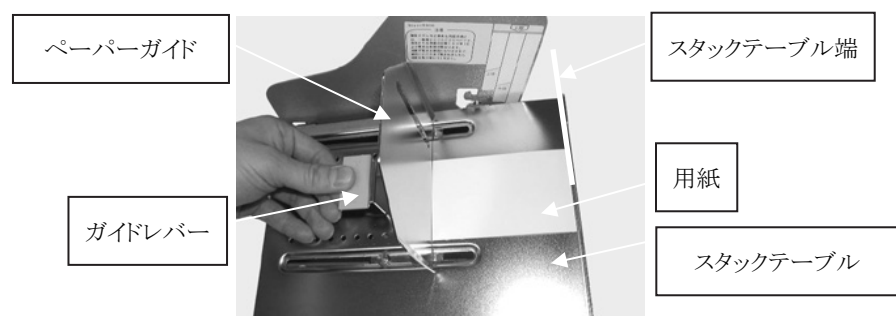
<スタックテーブル角度設定位置>



○ プリンタへの設置方法

① ペーパーガイドセット方法

○ ペーパーガイドはご使用になる用紙の長さに合わせて調整するもので、ご使用になる用紙を、図のようにスタックテーブルの端に合わせ、ガイドレバーのつまみ(紫の部分)を下に軽く押し、ペーパーガイドを前後に移動させて用紙に合わせてください。その際、用紙が折れ曲がらない事を確認してください。用紙が折れ曲がった状態で合わせますと、十分なスタックを確保できません。



② スタックテーブルセット方法

○ スタックテーブルは安定したスタックを得る為、用紙の長さにより角度調整が可能となっております。スタックテーブルの角度設定位置は、次ページ用紙ピッチ表1を参考にしてください。なお、表1は参考値であり、用紙の状態やスタック支障のない場合は、必ずしもピッチ表1に従う必要はありません。

***注：** 調整はスタックテーブルの前後を両手で持って調整してください。片手で動かしたり、スタックテーブル以外を持ちますと、製品が変形する恐れがあります(下記写真参考)。



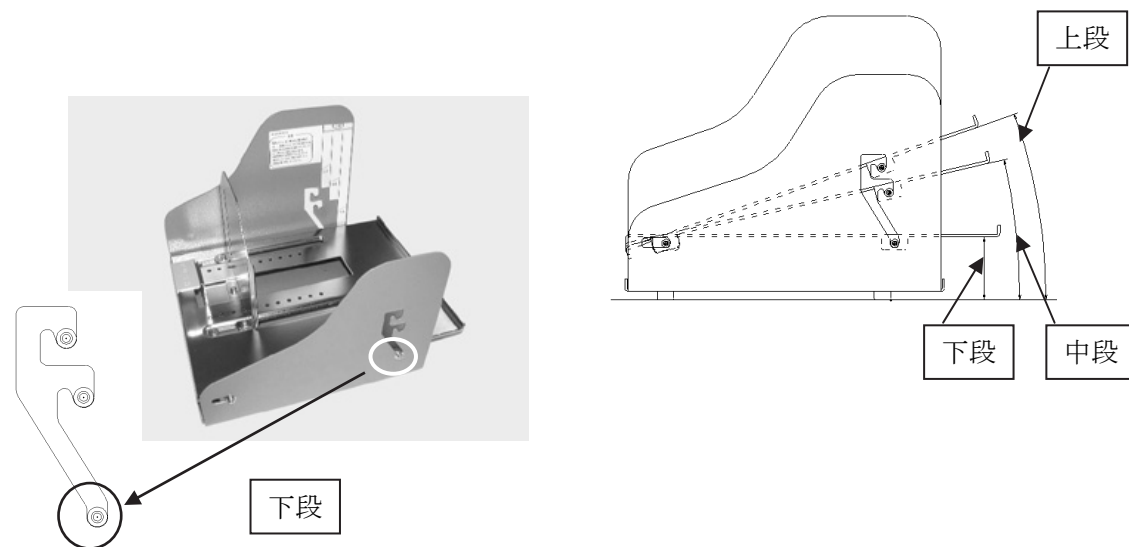
良い例



悪い例 1



悪い例 2



用紙ピッチ表1

	CL4NX-J 用紙ピッチ(mm)	MR4XXe シリーズ 用紙ピッチ(mm)	MT4XXe シリーズ 用紙ピッチ(mm)	M-48Pro/ M-4800Rve シリーズ 用紙ピッチ(mm)
上段	—	63 mm～90 mm	63 mm～100 mm	63 mm～90 mm
中段	90 mm～130 mm	90 mm～130 mm	100 mm以上	90 mm～130 mm
下段	130 mm以上	130 mm以上	100 mm以上	130 mm以上

上記は参考値であり、用紙の状態やスタック支障のない場合は、必ずしも用紙ピッチ表1に従う必要はありません。